



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 畑 謙一 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	283,296	△7.8	41,824	△29.3	40,659	△30.0	31,759	△30.4	31,842	△30.3	18,815	△7.0
2020年3月期第2四半期	307,278	7.8	59,150	24.3	58,065	30.4	45,621	32.7	45,711	32.7	20,224	△72.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	42.21	42.08
2020年3月期第2四半期	61.44	60.42

（参考）調整後営業利益 2021年3月期第2四半期 51,261百万円 2020年3月期第2四半期 67,044百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,292,432	769,353	769,367	59.5
2020年3月期	1,241,355	754,883	754,813	60.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00			
2021年3月期（予想）			—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	△4.6	108,000	△13.6	90,000	△18.6	68,000	△20.2	90.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2020年11月5日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、2020年9月30日までに一部権利行使による株式への転換が行われました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、この影響を考慮して計算しております。

・下期想定レート：1ドル=105円、1ユーロ=120円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	759,521,040株	2020年3月期	759,521,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,979,377株	2020年3月期	7,236,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	754,465,111株	2020年3月期2Q	744,035,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日、以下「当第2四半期」）における医療市場では、特に4、5月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の大きな影響を受け、様々な診療科において待機症例の延期、検査や診断の減少、入院日数の減少等による需要減がありました。7～9月には、延期されていた症例の一部が行われたことで、需要が一定程度回復しました。当社においては、心臓血管カンパニーに対して需要減の影響が顕在化したものの、ホスピタルカンパニーや血液・細胞テクノロジーカンパニーに対する影響が比較的軽微となったことに加え、一部製品における需要増もあり、全社として新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一定程度緩和できた結果となりました。

当第2四半期の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上収益	307,278	283,296	△7.8	△6.4
売上総利益	171,463	150,463	△12.2	△9.5
調整後営業利益	67,044	51,261	△23.5	△18.5
営業利益	59,150	41,824	△29.3	△23.9
税引前四半期利益	58,065	40,659	△30.0	—
四半期利益	45,621	31,759	△30.4	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	45,711	31,842	△30.3	—

当第2四半期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	95,921	93,508	△2.5	△2.5
欧州	58,271	55,525	△4.7	△4.6
米州	92,623	82,481	△10.9	△8.0
アジア他	60,461	51,780	△14.4	△12.0
海外計	211,356	189,788	△10.2	△8.2
合計	307,278	283,296	△7.8	△6.4

<売上収益>

売上収益は、前年同期比7.8%減の2,833億円となりました。

日本では、心臓血管カンパニーにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、他地域と比較し小さかったことに加え、ホスピタルカンパニーにおいてアライアンス事業や麻酔用鎮痛剤の好調、感染対策製品に対する需要増もあり、前年同期比2.5%の減収にとどまりました。

海外では、ホスピタルカンパニーと血液・細胞テクノロジーカンパニーに対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響は小さかったものの、心臓血管カンパニー、特にTIS（カテーテル）事業に対する同影響が大きく、前年同期比10.2%の減収となりました。一方で、心臓血管領域においては、第1四半期に延期されていた症例の一部が第2四半期に行われた結果、顕著な需要の回復が見られました。

<売上総利益>

売上総利益は、心臓血管カンパニーを中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上収益の減少があり、前年同期比12.2%減の1,505億円となりました。

<調整後営業利益>

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費を一部抑制したものの、売上総利益の減少により、前年同期比23.5%減の513億円となりました。

なお、調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。また、調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いています。

<営業利益>

営業利益は、調整後営業利益の減少により、前年同期比29.3%減の418億円となりました。

<税引前四半期利益>

税引前四半期利益は、営業利益の減少により、前年同期比30.0%減の407億円となりました。

<親会社の所有者に帰属する四半期利益>

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の減少により、前年同期比30.3%減の318億円となりました。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度より、従来の「血液システムカンパニー」のセグメント名称を「血液・細胞テクノロジーカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	172,597	149,424	△13.4	△12.2
	(日本)	24,752	22,862	△7.6	△7.6
	(海外)	147,844	126,562	△14.4	△12.9
ホスピタルカンパニー	売上収益	82,815	81,791	△1.2	△0.6
	(日本)	64,981	64,825	△0.2	△0.2
	(海外)	17,833	16,966	△4.9	△2.0
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	51,756	51,952	0.4	3.2
	(日本)	6,077	5,693	△6.3	△6.3
	(海外)	45,678	46,259	1.3	4.5

<心臓血管カンパニー>

日本では、カーディオバスキュラー事業の補助循環装置（ECMOシステム）や、ニューロバスキュラー事業の血流改変ステント、血栓吸引カテーテル等が牽引したものの、他の事業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、減収となりました。海外では、米州においてTIS（カテーテル）事業への同影響が大きく、また中国において、ニューロバスキュラー事業で代理店の受注タイミングの影響を受けたことで、心臓血管カンパニーの売上収益は前年同期比13.4%減の1,494億円となりました。一方で、第1四半期に延期されていた症例の一部が第2四半期に行われた結果、特に海外では顕著な需要の回復が見られました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、多くの製品において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、ホスピタルシステム事業の麻酔用鎮痛剤や感染対策関連製品が牽引したことに加え、グローバルでアライアンス事業の製薬企業との提携ビジネスが拡大したことにより、ホスピタルカンパニーの売上収益は前年同期比1.2%減にとどまり818億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本では、血液センター向け製品において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による血液需要の減少を受け、減収となりました。海外では、アフェレシス治療製品と細胞処理製品において、同影響による需要減が見られましたが、成分採血装置の新ソフトウェアが牽引、また新型コロナウイルス感染症の回復期血漿の需要が増加した結果、血液・細胞テクノロジーカンパニーの売上収益は前年同期比0.4%増の520億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、511億円増加して12,924億円となりました。これは主に、長期借入金の借入れ等により現金及び現金同等物が427億円増加、生産設備等への投資により有形固定資産が100億円増加したことによるものです。

負債合計は、366億円増加して5,231億円となりました。これは主に、社債の償還や一部転換が行われたものの長期借入金の借入れにより社債及び借入金が512億円増加した一方で、設備関係の支払等により営業債務及びその他の債務が141億円減少したことによるものです。

資本合計は、145億円増加して7,694億円となりました。これは主に、四半期利益の計上により318億円増加、転換社債型新株予約権付社債の転換に自己株式を充当したこと等により61億円増加した一方で、剰余金の配当により105億円減少、為替相場が円高に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により129億円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点では不透明な新型コロナウイルス感染症拡大（第2波・第3波）の動向、またその影響による需要減やサプライチェーンの断絶等のリスクについては、引き続き注視していく必要がありますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用等に注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,898	209,577
営業債権及びその他の債権	131,728	119,334
その他の金融資産	397	177
棚卸資産	147,147	167,011
未収法人所得税等	1,745	1,712
その他の流動資産	12,689	14,949
流動資産合計	460,607	512,762
非流動資産		
有形固定資産	264,407	274,382
のれん及び無形資産	461,506	452,192
持分法で会計処理されている投資	5,275	3,499
その他の金融資産	17,733	16,651
繰延税金資産	27,307	28,658
その他の非流動資産	4,517	4,286
非流動資産合計	780,748	779,669
資産合計	1,241,355	1,292,432

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	88,044	73,894
社債及び借入金	50,324	50,484
その他の金融負債	6,144	7,154
未払法人所得税等	11,681	12,659
引当金	395	330
その他の流動負債	55,256	52,691
流動負債合計	211,845	197,215
非流動負債		
社債及び借入金	195,870	246,898
その他の金融負債	31,802	35,335
繰延税金負債	20,360	18,117
退職給付に係る負債	18,456	16,601
引当金	92	91
その他の非流動負債	8,043	8,819
非流動負債合計	274,626	325,862
負債合計	486,472	523,078
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,858	51,730
自己株式	△14,103	△7,755
利益剰余金	705,765	728,593
その他の資本の構成要素	△27,423	△41,916
親会社の所有者に帰属する持分合計	754,813	769,367
非支配持分	69	△14
資本合計	754,883	769,353
負債及び資本合計	1,241,355	1,292,432

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上収益	307,278	283,296
売上原価	135,815	132,832
売上総利益	171,463	150,463
販売費及び一般管理費	113,944	109,026
その他の収益	3,094	1,757
その他の費用	1,462	1,369
営業利益	59,150	41,824
金融収益	915	581
金融費用	1,909	1,027
持分法による投資損益（△は損失）	△92	△719
税引前四半期利益	58,065	40,659
法人所得税費用	12,443	8,900
四半期利益	45,621	31,759
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	45,711	31,842
非支配持分	△89	△83
四半期利益	45,621	31,759
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	61.44	42.21
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	60.42	42.08

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期利益	45,621	31,759
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△292	663
確定給付制度の再測定	△450	136
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△742	799
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△24,509	△14,299
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△80	141
ヘッジコスト	△65	414
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△24,655	△13,743
その他の包括利益	△25,397	△12,943
四半期包括利益	20,224	18,815
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,310	18,898
非支配持分	△85	△83
四半期包括利益	20,224	18,815

（注）上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日時点の残高	38,716	52,029	△32,381	646,223	△6,553	698,034	78	698,113
四半期利益	—	—	—	45,711	—	45,711	△89	45,621
その他の包括利益	—	—	—	—	△25,401	△25,401	3	△25,397
四半期包括利益合計	—	—	—	45,711	△25,401	20,310	△85	20,224
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	65	△20	△44	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△10,029	—	△10,029	—	△10,029
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	△450	450	—	—	—
子会社の増資に伴う持分の変動	—	—	—	—	—	—	53	53
株式報酬取引	—	△152	120	82	20	71	—	71
転換社債型新株予約権付社債 の転換	—	△73	10,589	△159	—	10,356	—	10,356
所有者との取引額合計	—	△226	10,774	△10,577	426	397	53	450
2019年9月30日時点の残高	38,716	51,803	△21,607	681,358	△31,527	718,741	46	718,788

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日時点の残高	38,716	51,858	△14,103	705,765	△27,423	754,813	69	754,883
四半期利益	—	—	—	31,842	—	31,842	△83	31,759
その他の包括利益	—	—	—	—	△12,943	△12,943	△0	△12,943
四半期包括利益合計	—	—	—	31,842	△12,943	18,898	△83	18,815
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	43	0	△43	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△10,531	—	△10,531	—	△10,531
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	1,529	△1,529	—	—	—
株式報酬取引	—	△100	99	102	24	125	—	125
転換社債型新株予約権付社債 の転換	—	△27	6,206	△116	—	6,062	—	6,062
所有者との取引額合計	—	△128	6,347	△9,015	△1,548	△4,344	—	△4,344
2020年9月30日時点の残高	38,716	51,730	△7,755	728,593	△41,916	769,367	△14	769,353

- （4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「ホスピタルカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度より、従来の「血液システムカンパニー」のセグメント名称を「血液・細胞テクノロジーカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	172,597	82,815	51,756	307,168	110	307,278
セグメント利益 (調整後営業利益)	47,177	12,592	6,686	66,457	587	67,044
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△3,518	—	△4,100	△7,618	△228	△7,847
一時的な損益(注) 2						△47
営業利益						59,150
金融収益						915
金融費用						△1,909
持分法による投資損益						△92
税引前四半期利益						58,065

（注）1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額110百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額587百万円には、棚卸資産の調整額202百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△47百万円には、一昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,167百万円、事業再編費用△894百万円等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	149,424	81,791	51,952	283,169	127	283,296
セグメント利益 (調整後営業利益)	32,017	11,718	8,880	52,616	△1,355	51,261
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△3,479	—	△4,037	△7,516	340	△7,176
一時的な損益(注) 2						△2,259
営業利益						41,824
金融収益						581
金融費用						△1,027
持分法による投資損益						△719
税引前四半期利益						40,659

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額127百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△1,355百万円には、棚卸資産の調整額385百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,189百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△2,259百万円には、条件付対価の公正価値変動△1,852百万円、事業再編費用△321百万円等が含まれております。